

スーパー・メガリージョン効果の広域的な波及について (西日本スーパー・メガリージョン勉強会)

平成31年 1月18日

国土交通省 近畿地方整備局

伊丹 潔

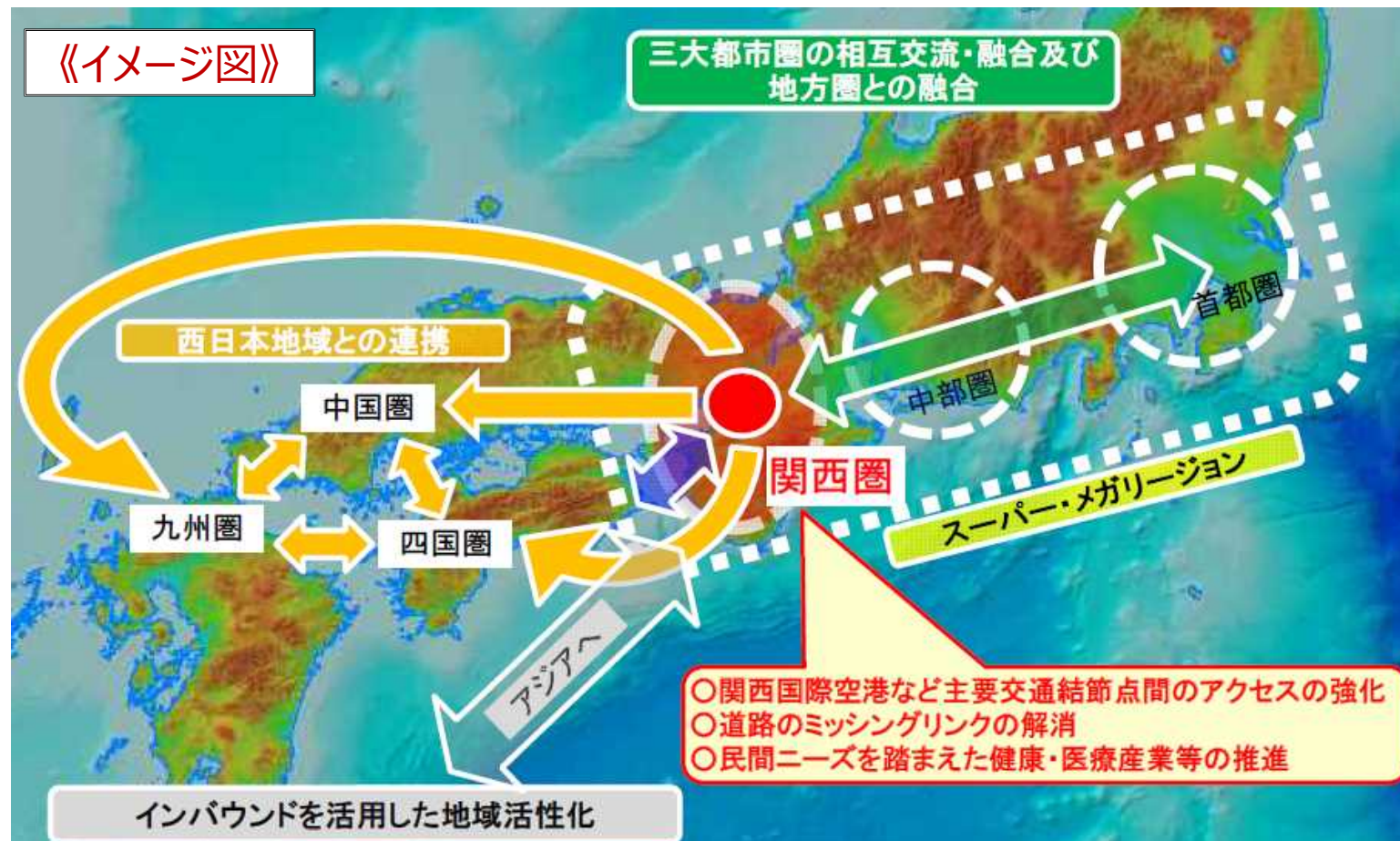
- ◆西日本スーパー・マガリジョン勉強会について
 - ・目的、開催状況
 - ・意見交換の状況・内容

(参考)拠点性向上への取組み

【勉強会の目的】

(座長：京都大学_小林教授、副座長：神戸大学_正司教授)

スーパー・メガリージョン形成効果を西日本全域に波及させることを目的に、インバウンドを始めとした「アジアのゲートウェイ」としての西日本地域の魅力向上や地域・圏域を越えた広域的な連携・交流の実現に向けて、有識者や西日本地域の行政機関・関係者が集まり意見交換等を実施。



勉強会(話題提供、意見交換)の開催概要

第1～4回(話題提供)

- ・期 間：平成29年12月18日～平成30年1月29日
- ・開催地：4圏域で開催(大阪、広島、高松、福岡)
- ・目 的：ｽｰﾊﾟｰ･ｶﾞﾘｰｼﾞｮﾝに関する話題提供、地域間連携の気運醸成

第5回～(意見交換会)

- ・期 間：平成30年3月20日～
- ・開催地：大阪
- ・目 的：西日本地域の魅力向上、地域・圏域を越えた広域的な連携・交流の実現

話 題 提 供 者

(大阪開催)平成29年12月18日(月)

- ・京都大学 小林教授
- ・名古屋大学 森川教授
- ・関西経済連合会 出野常務理事・事務局長
- ・国土交通省 国政局 池田計画官

(広島開催)平成29年12月25日(月)

- ・京都大学 小林教授
- ・国土交通省 国政局 池田計画官
- ・神戸大学 小池教授

(高松開催)平成29年12月26日(火)

- ・京都大学 小林教授
- ・国土交通省 国政局 池田計画官
- ・東工大 真田准教授

(福岡開催)平成30年1月29日(月)

- ・京都大学 小林教授
- ・国土交通省 国政局 岸計画官
- ・日本総合研究所 寺島会長

第5～7回までの概要

(大阪開催)平成30年3月20日(火)

※有識者による意見交換

- ・京都大学_小林教授 ・神戸大学_正司教授、
- ・政策科学大学_家田教授 ・大阪府市長会長_阪口高石市長 ・本省国政局_岸計画官

(大阪開催)平成30年6月15日(金)

※自治体(瀬戸内海)首長との意見交換

- ・基調講演：本省国政局_野村局長
- ・発 表：高石市長、宇部市市長、南あわじ市長
- ・意見交換：有識者、各行政機関、発表者

(大阪開催)平成30年11月19日(月)

※経済団体との意見交換

- ・発 表：本省_佐竹大臣官房審議官
関西経済連合会、中国経済連合会
四国経済連合会
- ・意見交換：有識者、各行政機関、発表者

【話題提供の内容】

- 京都大学経営管理大学院 小林教授 [大阪・広島・高松・福岡]
⇒ 「スーパー・メガリージョンとポストアーバン社会」
- 名古屋大学未来社会創造機構 森川教授 [大阪]
⇒ 「スーパー・メガリージョンにおける関西圏と中部圏の役割」
- (公社)関西経済連合会 出野常務理事・事務局長 [大阪]
⇒ 「LOOK WEST ～関西発の創造戦略～」
- 神戸大学大学院工学研究科 小池教授 [広島]
⇒ 「スーパー・メガリージョンと西日本経済 -SCGET[®]ル結果からの政策提案-
- 東京工業大学環境・社会理工学院 真田准教授 [高松]
⇒ 「総合的な農村振興に向けて ～農業、景観、観光、土木～」
- (一般)日本総合研究所 寺島会長 [福岡]
⇒ 「スーパー・メガリージョン形成を踏まえた地域間連携」
- 国交省国政局 池田計画官 [大阪・広島・高松]、岸計画官 [福岡]
⇒ 「スーパー・メガリージョン構想検討会に関する情報提供」

【第5回】※有機者による意見交換

※役職は開催時のもの

<有識者> ・ 京都大学経営管理大学院_小林教授 ・ 神戸大学大学院_正司教授
・ 政策研究大学院大学_家田教授 ・ 大阪府市長会_阪口会長(高石市長)
・ 国交省国政局_岸 計画官

<出席者> ・ 近畿地方整備局、近畿運輸局、国の地方支分局、地方公共団体、
経済団体、他圏域の整備局等 約100名

⇒ テーマ1：「スーパースタリオン構想検討会について」

テーマ2：「スーパースタリオンによる西日本へのインパクトについて」

テーマ3：「グローバルステーションにおけるスーパースタリオンについて」

【第6回】※瀬戸内海沿海の自治体首長からの発表、意見交換

<有識者> ・ 京都大学経営管理大学院_小林教授 ・ 神戸大学大学院_正司教授

<発表者> ・ 国交省国政局_野村局長(基調講演)
・ 高石市_阪口市長 ・ 宇部市_久保田市長 ・ 南あわじ市_守本市長

<出席者> ・ 近畿地方整備局、近畿運輸局、国の地方支分局、地方公共団体
経済団体、他圏域の整備局等 約100名

⇒ 国政局長：「SMR構想の全国展開に向けて(西日本広域連携への期待)」

宇部市長：「リニア&瀬戸内クルーズによる地域活性化について」

南あわじ市長：「西日本地域の壮大なサイクリングロードに向けて」

高石市長：「瀬戸内海を中心とした西日本の魅力について」

【第7回】 ※経済団体からの発表、意見交換

※役職は開催時のもの

- <有識者> ・ 京都大学経営管理大学院_小林教授 ・ 神戸大学大学院_正司教授
- <発表者> ・ 国交省_佐竹大臣官房審議官（報告）
・ 関西経済連合会_出野常務理事・事務局長
・ 中国経済連合会_谷口常務理事 ・ 四国経済連合会_山野井常務理事
- <出席者> ・ 近畿地方整備局、近畿運輸局、国の地方支分局、地方公共団体
経済団体、他圏域の整備局等 約90名

- ⇒ 官房審議官：「スーパー・メガリージョン構想の中間とりまとめについて」
関西経済連合会：「LOOK WEST ～関西発の創造戦略～」
中国経済連合会：「中国経済連合会から見たSMR構想」
四国経済連合会：「四国新幹線の実現を目指して」



※第8回以降も引き続き実施



※地域デザイン等への反映方針等について整理・検討

(H31夏頃)

スーパー・メガリージョン構想検討会 最終とりまとめ

※論点2： 論点1において明らかにされるリニア等の整備効果を「引き出す」ために、各地で共通して取り組むべきことは何か

※論点3： 論点2を踏まえ、論点1において明らかにされる効果を「引き出す」ための国土デザイン、地域デザインの基本的方向をどう設定すべきか



■これまでの主な意見

【拠点整備、インフラ整備関連】

- 「地方創生回廊中央駅構想」は、リニア中央新幹線が新大阪駅に入ることが前提。西日本の核になるというイメージで、交通結節点やまちづくりの視点からの検討が必要。
- 域内の交通インフラ整備も重要。関西三空港の効率的な一体運用により集客装置としての競争が向上
- 関西が西日本の玄関口となるにはバスターミナルや駐車場機能の充実が必要。

【経済、産業関連】

- リニアを活かし、西日本地域への世界規模の企業（極東・アジア支社）の誘致を！
- 西日本は交流人口の伸び代が大きいと言われており、産業分野の交流もある。
- 中国圏の知的創造型産業（IT系）の人材と近畿圏のライフサイエンス、生活支援ロボット産業との連携、中国圏のモノづくり地域と近畿圏の大学の集積による産学官の連携に期待。
- 九州は電気電子、ロボット、環境、自動車産業のシェアが高く、食糧基地として全国農産物の2割、養殖漁業の4割を担う。

【観光関連】

- スーパー・カテゴリーが実現すると首都圏と一体化し、関空に就航しない都市とも結ばれる。関東から入国、広島や山陰から出国する周遊ルートなど戦略が必要。
- 関西、中国、四国に共通する瀬戸内海を活用した外国人視線（デザイン）の周遊観光の整備が必要。
- 西日本には圧倒的な個性や文化の厚みや豊かな地域資源があり、バラエティ豊かな回遊・周遊のコースが描けるのは最大の魅力。特にフェリーから眺める瀬戸大橋と夕日の景色は素晴らしい。

（具体イメージの提案）

- 瀬戸内海クルーズ → 美しい島々、アート、景観巡り、船から眺める朝日・夕日や山々本物の体験
- 西日本サイクリング → アワイチ・しまなみ街道・ビワイチ他を繋ぐ壮大なサイクリングロード（ツール・ド・フランスの約1/2）
- SDGs先進地域（里海づくり）としての「瀬戸内海」
→ 全国有数の工業地（先端文明）とアマモによる里海づくり（自然環境）との共存

【ビジネス、ライフスタイル関連】

- 新しい社会のあり方、生業のあり方について考える時代。「田舎で暮らす」に価値があるという方向を探る時代が来ている。
- 自然豊かな地域にゆとりを持って居住し、子どもを育て豊かな感受性を育てることをしつつ、スピーディーかつ世界基準のビジネスフィールドに挑戦できるというライフスタイルをつくっていく、という視点での取り組みが必要。

【アジアとの交流】

- アジアとは時間・距離の隣接性、歴史的・経済的な繋がりがあり、アジアの成長を如何に取り込むかは活かすべき武器。
- 中国、韓国に近い九州はアジアとの連携の鍵。2040年に九州にいかなる産業、社会によって引っ張るのかを創造し、スーパー・メガリージョンを引き寄せるくらいの発想で向き合う必要。
- インダストリアルツアー、ファームステイ、スポーツツーリズム、医療ツーリズムなど観光産業と他産業との相乗効果ができる。
- 世界人口の半分以上がいるアジアが大事。東アジアが世界の工場化する中で日本がどう生きるか、スーパー・メガリージョンがどういう頑張りができるか？
- アジアでの工場の立地の延長上で経済が発展、互いの中で中間財貿易、持ちつ持たれつ状態で経済発展していくビジネスシステムをアジア全体で作って行くと密接性、重要性が高まる。

西日本地域の連携（広域観光）

※第6回 西日本スーパー・マガリジョン勉強会 宇部市長発表資料より

リニア&瀬戸内海クルーズ ～ 首都圏域対象観光・インバウンド観光戦略

2040年 高速移動の時代

景観・歴史・アート・食

瀬戸内のダイナミックな魅力をクルーズで満喫



西日本地域の連携（広域観光）

※第6回 西日本スーパー・マガリジョン勉強会 宇部市長発表資料より

アート



宇部市

瀬戸内アートの道



景観

西日本地域の連携（広域観光）

※第6回 西日本スーパー・マガリジョン勉強会 南あわじ市長発表資料より

瀬戸内海大型クルーズ船とサイクリングのコラボレーション

⇒別府や京阪神に外国からの大型クルーズ船寄港、サイクリングでの瀬戸内海のしまなみ観光

⇒琵琶湖、淡路島、しまなみ海道と熊野、別府を巡るとツール・ド・フランスの約1/2の距離！



※第6回 西日本スーパー・マガリジョン勉強会 南あわじ市長発表資料より

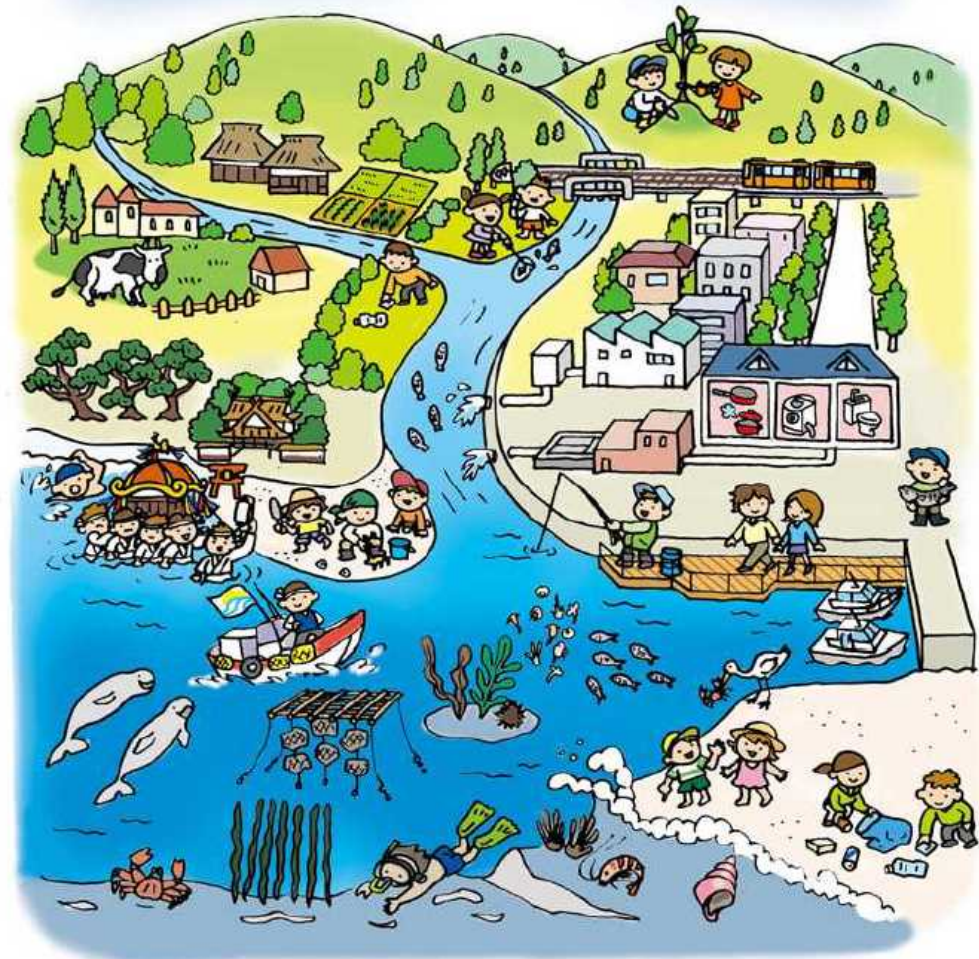
SDGs先進地域 (里海)としての 「瀬戸内海」

⇒屈指の工業地帯と恵み豊かな海の共存を、人の活動により作っていく。

・藻場・浅瀬創り。海の手入れ、下水道の活用、森から川、海の自然循環の再構築

・産業の活性化であるとともに、近年の観光客の志向にもアピール度大。

出典：里海ネットHP



西日本地域の連携（広域観光）

※第6回 西日本スーパー・マガリジョン勉強会 高石市長発表資料より

主な観光資源（アート・伝統文化）

Map of West Japan highlighting various cultural and art resources:

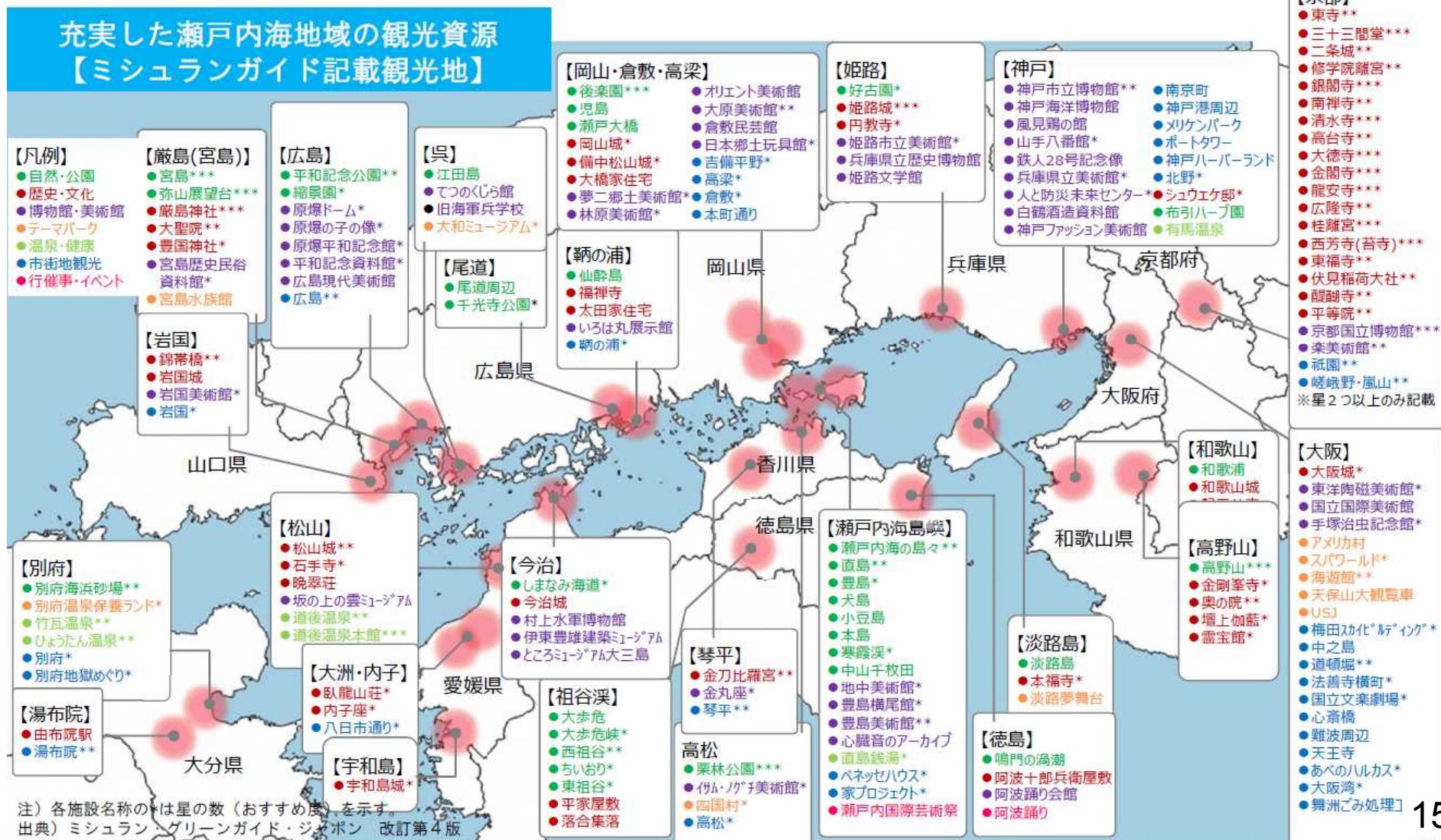
- 瀬戸内シープレーン
- ART SETOUCHI 瀬戸内国際芸術祭
- 浄瑠璃
- UBEビエンナーレ
- 直島（赤かぼちゃ・直島銭湯「I♥湯」）
- 小豆島（アートノショーターミナル）
- 博多どんたく
- 大久野島（うさぎ島）
- 阿波踊り

◎アート・伝統文化

西日本地域の連携（広域観光）

※第6回 西日本スーパー・マガリジョン勉強会 高石市長発表資料より

瀬戸内海を中心とした関西・西日本の魅力



西日本地域の連携（広域物流）

※第6回 西日本スーパー・マガリジョン勉強会 高石市長発表資料より

環瀬戸内 海運物流とケミカルパーク構想

○「環瀬戸内 海運物流とケミカルパーク構想」とは、瀬戸内海を通じた海運物流により、府県を越えて西日本を繋げ、広域的な連携を図り、コンビナート競争力強化を目指すものである

○原材料共同調達のネットワーク構築

- 共同購入による調達コスト削減
- 船舶の共同運用による輸送コスト削減



※第7回 西日本スーパー・マガリジョン勉強会 [中国経済連合会発表資料より](#)



2. SMR時代に向けた中国地方の課題

地域資源（強み）の強化・充実

	具体例
観光振興	<ul style="list-style-type: none">・歴史的街並み等地域の観光資源の磨き上げ・クルーズ船等誘致強化など瀬戸内海の活用促進・海、山、中山間地域を活用した外国人も含めた定住型リゾート形成 等
第一次産業再活性化	<ul style="list-style-type: none">・IT活用によるスマート農林水産業の促進・生産から販売までの一貫して行う運営主体と人材の育成
基幹産業の強化	<ul style="list-style-type: none">・大学や研究機関を中心とした地域イノベーション創出の仕組み強化・IT活用による物流部門などを中心とした生産性向上の促進

社会基盤の整備

具体例

- ・広域交通基盤整備や自動走行システムの積極的な活用による地域内移動システムの革新
- ・海外との交流を促進する地域拠点空港の機能強化と活用促進
- ・公共サービスのスマート化促進による地域コミュニティの利便性の向上

新幹線を活かした四国の地域づくり

※第7回 西日本スーパー・メガリージョン勉強会 四国経済連合会発表資料より

新幹線を活かした四国の地域づくり「3つの基本戦略」

新幹線は真の四国創生を実現するための最大の起爆剤であり、かつ継続的な推進力となる公共的インフラです。新幹線開業効果を踏まえ、四国の地域づくりの基本戦略と将来イメージを提示します。

基本戦略

1

人口200万人規模の “四国ネットワーク中枢都市圏”を形成する

ほぼ1時間以内で移動可能となる新幹線沿線都市を一体化し、各都市が積極的な連携・役割分担を図ることで、「都市機能のスケールメリット」を追求します。

魅力ある都市機能が集積し、多くの人を引き寄せる
四国が誕生します。



基本戦略

2

新幹線を軸に、 四国全域の成長力を底上げする

四国内外の移動時間の大幅短縮と四国一体の観光・産業振興策が相乗効果を発揮し、経済活力を高めます。また、周辺地域にも新幹線効果を取り込むことで、各地域が持つ潜在力が引き出されます。

観光やビジネス、一次産業、遍路など、四国の広範な分野・地域に
新幹線効果が波及します。

基本戦略

3

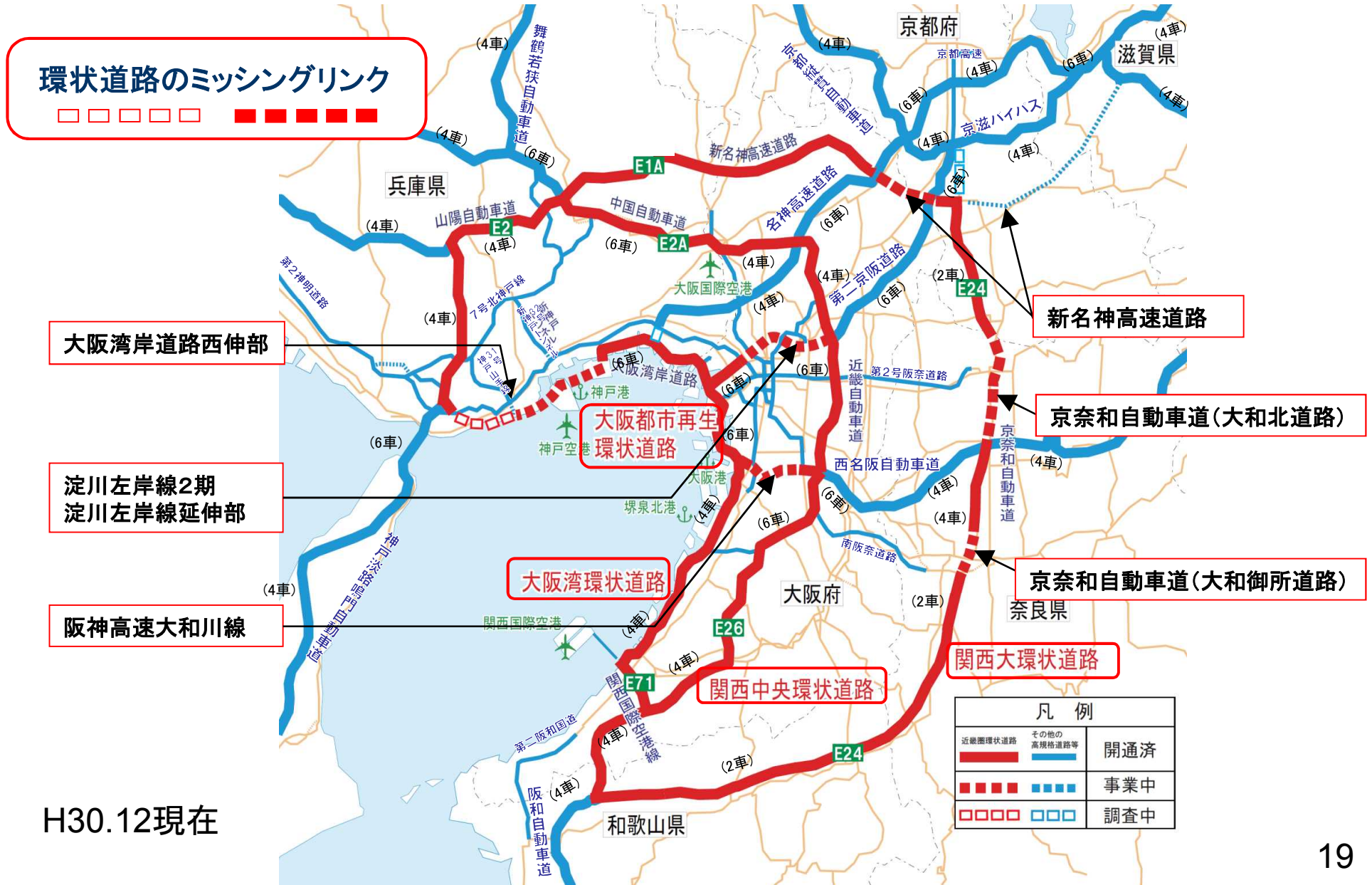
西日本経済文化交流圏を構築するとともに、 三大都市圏との連携を深化させる

四国と新幹線で結ばれる関西はじめ西日本各地との相互交流が活発化します。また、リニア中央新幹線を介して三大都市圏が一体化したスーパー・メガリージョンの活力を四国に呼び込みます。

関西・九州などの成長力やリニア開業効果を四国に
取り込むことで、四国創生を確かなものとしします。

(参考1) ミッシングリンクへの対応

◆ 大阪湾周辺地域における幹線道路ネットワークのミッシングリンクに対する事業中の箇所



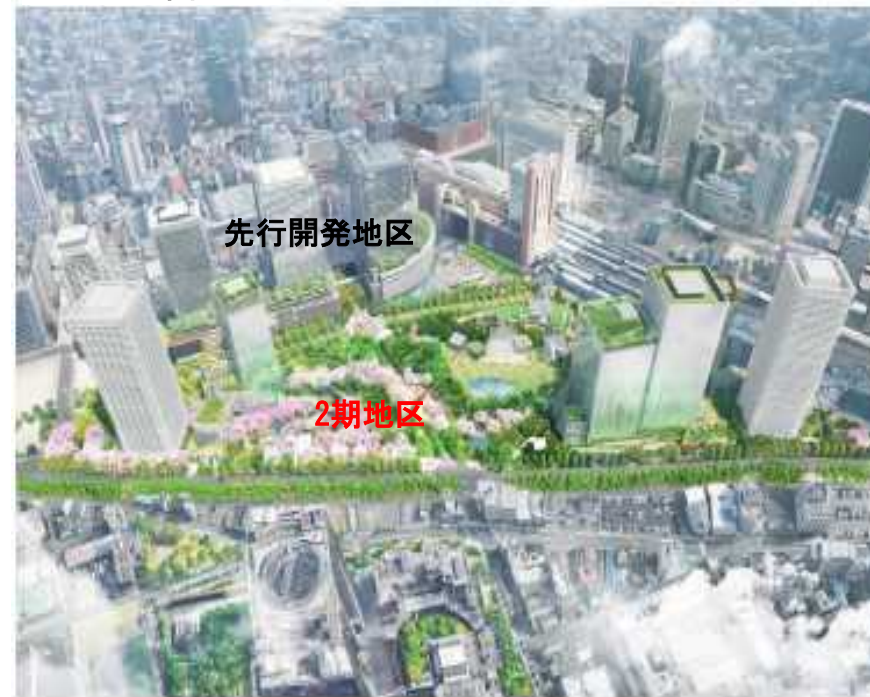
H30.12現在

(参考2) 大阪駅前の新たな拠点の形成

◆ 圧倒的な立地ポテンシャルを持つ「うめきた」



<イメージ図>



<先行開発地区(グランフロント大阪)の施設概要>

■施設概要

オーナーズタワー 分譲住宅
タワーC ホテルサービスレジデンス
タワーB オフィス
タワーA オフィス
「グランフロント大阪」施設構成概念図
ホテル施設
ナレッジキャピタル
商業施設
ショールーム
うめきた広場
JR大阪駅
コンベンションセンター

北館	南館
延床面積:約7万㎡ 地上48階・地下1階	延床面積:約19万㎡ 地上38階・地下3階

■南館を南側より望む

<「ナレッジ・キャピタル」内の主な施設>

The Lab.
みんなで世界一研究所
ナレッジキャピタルに集まる新しい価値を、展示・発信する来場者参加型の研究所。

ナレッジサロン
ビジネスマン、研究者、クリエイターなど、多彩な才能が集う会員制サロン。

ナレッジシアター
演劇などの芸術作品から新製品発表会まで、多種多様な情報を発信する多目的劇場。

フューチャーライフショールーム
企業や大学等が一步先の未来を提案し、企業とユーザーが「関係性」を構築する場。「見る」「買う」の楽しみに、「参加する」という価値を融合。

(参考3) 新大阪駅の整備・鉄道アクセスの強化

＜新大阪の整備＞

現在の新大阪駅ホームは
容量が一杯・・・



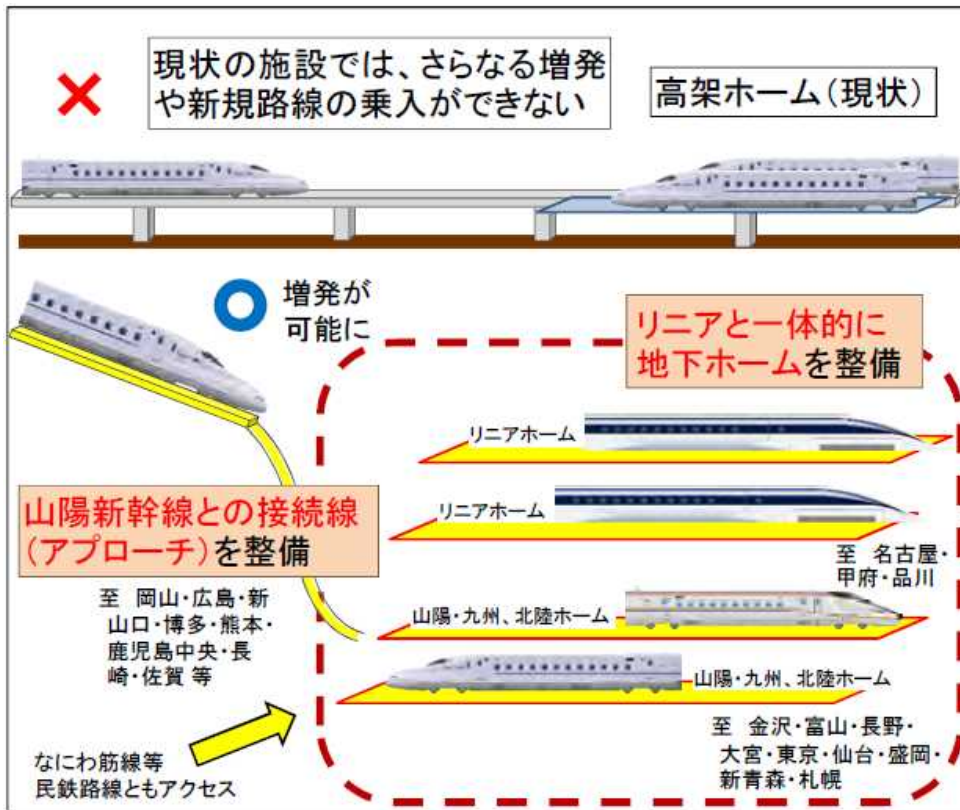
しかし、新大阪駅は、今後△
△を担うポテンシャルが高い

リニア整備後の4時間交通圏(※)

大阪 40箇所 / 47箇所

東京 35箇所 / 47箇所

※鉄道利用で4時間以内に到達可能な県庁所在地数



※資料：国土交通省生産性革命本部資料(第7回会合)

＜「なにわ筋線」等の事業化検討状況＞



ご静聴ありがとうございました。